

高速道路の橋脚補強の整備手法（意見表示）

東日本高速道路（株）・中日本高速道路（株）・
西日本高速道路（株）・本州四国連絡高速道路（株）
602億8839万円・476億2886万円・
2824億3449万円・226億3957万円(背景金額)

高速道路の橋脚補強の概要

- ✓ 4会社は、平成8年の「道路橋示方書・同解説」より前の示方書を適用して設計等し既に供用している橋りょうについて、耐震補強工事を実施し、地震時に橋りょうの損傷を軽微にとどめて速やかに機能回復を図り、緊急輸送道路として機能させるための性能（機能回復性能）を確保するとしている
- ✓ 4会社が管理する17,605橋については、落橋・倒壊防止対策は完了している一方、機能回復性能の確保に至っていない橋りょうが28年熊本地震発生時点で計4,454橋
 - 地震時に生じた橋脚の損傷に起因して、上下線共に通行不能（地震時のミッシングリンク）となり、緊急輸送道路としての高速道路ネットワークが機能しないおそれ
- ✓ 4会社は、国土交通省が示した方針を受けて、「高速道路における安全・安心実施計画」を策定
 - 大規模地震の発生確率が高い地域は令和3年度、その他整備地域は8年度を橋脚補強の完了目標年度とするなどとしている

検査の結果

- ✓ 機能回復性能の確保に至っていない橋りょう計4,454橋、平成28年度から令和4年度までに4会社が締結した橋脚の耐震補強工事（橋脚補強）等に係る契約計403件（契約金額計1兆2623億0375万余円）を対象に検査
- ✓ 4,454橋のうち令和4年度末時点で橋脚補強の工事契約締結に至らない橋りょう3,059橋
 - 地震時のミッシングリンクが生ずるおそれ（高速道路本線67路線381区間）
- ✓ 4,454橋のうち並行する上下線を分離した橋脚がそれぞれ支える構造の分離橋りょう1,873橋このうち橋脚補強を実施済の528橋全てで、並行する上下線の2橋の橋脚補強を同時に実施していて、暫定的に上下線のいずれか一方の分離橋りょうの橋脚補強を実施する整備手法を用いていなかった
 - 分離橋りょう1,345橋（工事契約未締結）の橋脚補強に当たっては、暫定的に上下線のいずれか一方の橋りょうの橋脚補強を実施する整備手法を用いることにより、地震時のミッシングリンクが生ずるおそれがある区間等を早期に解消できる
- ✓ 4,454橋のうち段階的整備により4車線化した区間の橋りょう89橋（本四会社を除く）
 - 4車線化に伴い機能回復性能が確保された橋りょうが並行して設置されていて、地震時のミッシングリンクが生ずるおそれはないにもかかわらず、橋脚補強を実施していた

表示する意見

- ✓ 現地の条件等を踏まえた橋脚補強の効率的な整備手法について検討を行い、今後の整備手法の方針等を決定し各支社等に対して通知するなどの措置を講ずること

高速道路の橋脚補強の整備手法（意見表示）

東日本高速道路（株）・中日本高速道路（株）・
西日本高速道路（株）・本州四国連絡高速道路（株）
602億8839万円・476億2886万円・
2824億3449万円・226億3957万円(背景金額)

高速道路の橋脚補強の概要

- ・4会社は、平成8年の「道路橋示方書・同解説」より前の示方書を適用して設計等し既に供用している橋りょうについて、耐震補強工事を実施し、地震時に橋りょうの損傷を軽微にとどめて速やかに機能回復を図り、緊急輸送道路として機能させるための性能（機能回復性能）を確保するとしている
- ・4会社が管理する17,605橋については、落橋・倒壊防止対策は完了している一方、機能回復性能を確保するには至っていない橋りょうが28年熊本地震発生時点で計4,454橋
 - 地震時に生じた橋脚の損傷に起因し上下線共に通行不能（地震時のミッシングリンク）、緊急輸送道路としての高速道路ネットワークが機能しないおそれ

検査の結果

○橋脚の耐震補強工事（橋脚補強）の工事契約

4,454橋のうち3,059橋が工事契約未締結
(令和4年度末時点)

地震時のミッシングリンクが生ずるおそれ
(高速道路本線67路線381区間)



(出典)
東日本高速道路
(株) HP

分離橋りょう
橋脚補強前

○並行する上下線を分離した橋脚がそれぞれ支える構造の分離橋りょうの橋脚補強

分離橋りょう 1,873橋 (4,454橋中)	工事完了 又は工事中	528橋
	工事契約 未締結	1,345橋

528橋全てで、暫定的に上下線いずれか一方の分離橋りょうの橋脚補強を実施する整備手法を用いていなかった

(参考) 過去早期のネットワーク構築のため4車線のうち2車線を暫定的に整備し段階的に供用を開始する整備手法を用いてきた経緯

1,345橋の橋脚補強に当たっては、暫定的に上下線のいずれか一方の橋りょうの橋脚補強を実施する整備手法により、地震時のミッシングリンクが生ずるおそれがある区間等を早期に解消できる

○段階的整備により4車線化した区間で実施した橋脚補強

4,454橋のうち89橋（本四会社を除く）

4車線化に伴い機能回復性能が確保された橋りょうが並行して設置されていて、地震時のミッシングリンクが生ずるおそれはないにもかかわらず橋脚補強を実施していた

表示する意見

現地の条件等を踏まえた橋脚補強の効率的な整備手法について検討を行い、今後の整備手法の方針等を決定し各支社等に対して通知するなどの措置を講ずること